

工事番号：七水第20-178号

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					改築工分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 門扉設備工 機器費 設備機器費	式	1			第1-1号内訳書		
計					機器費		
本工事費 門扉設備工 直接工事費 輸送費	式	1			計上なし		
計					輸送費		
直接工事費 直接材料費	式	1			計上なし		
小計					直接材料費		
直接工事費 補助材料費	式	1			直接材料費の %		
小計					補助材料費		
計					直接材料費		

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事				事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要	
本工事費 門扉設備工 直接工事費 一般労務費 新設					第1-2号内訳書	
小計	式	1			一般労務費	
直接工事費 一般労務費 撤去	式	1			第1-3号内訳書	
小計					一般労務費	
直接工事費 機械設備据付労務費 新設	式	1			第1-4号内訳書	
小計					機械設備据付労務費	
直接工事費 機械設備据付労務費 撤去	式	1			第1-5号内訳書	
小計					機械設備据付労務費	
計					労務費	

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事				事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要	
本工事費 門扉設備工 直接工事費 特許使用料					計上無し	
	式	1				
水道光熱電力量	式	1			計上無し	
機械経費	式	1			労務費の %	
総合試運転費 率計上	式	1			計上無し	
総合試運転費 積上げ	式	1			計上無し	
特別経費	式	1			スクラップ費	
計					直接経費	

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事				事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要	
本工事費 門扉設備工 間接工事費 共通仮設費 率計上						
運搬費 積上げ	式	1			計上無し	
準備費 積上げ	式	1			計上無し	
事業損失防止施設費 積上げ	式	1			計上無し	
安全費 積上げ	式	1			計上無し	
役務費 積上げ	式	1			計上無し	
技術管理費 積上げ	式	1			計上無し	
營繕費 積上げ	式	1			計上無し	
小計					共通仮設費	

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 門扉設備工 設計技術費 設計技術費					計上無し		
計	式	1			設計技術費		
合計					工事原価		
本工事費 門扉設備工 一般管理費 一般管理費					工事原価-機器費工場持込整備費		
計	式	1			一般管理費		
工事価格							
工事価格 (改め)							

第 1-1 号 内訳書

機 器 費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
角型外ネジ式制水扉 W500×H500	・手動開閉器HS-2T・開閉器架台SUS304 1600×900 ・ロット(SUS製) φ38 L=2500・振れ止め	式	1			本体重量:290kg
	・既存機器と同等品以上とし、上記仕様を満たす制水扉とする。					
計						

第 1-2 号 内訳書

一般労務費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
新設						
普通作業員		人				
計						

第 1-3 号 内訳書

一般労務費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
撤去						
普通作業員		人				
計						

第 1-4 号 内訳書

機械設備据付費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
新設						
機械設備据付工		人				
計						

第 1-5 号 内訳書

機械設備据付費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
撤去						
設備機械工		人				
計						

第 1-6 号 内訳書

複合工費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
機械損料・雑材・処分費		式	1			
モルタル補修工		式	1			
止水工		式	1			
計						

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 ポンプ設備工 機器費 設備機器費	式	1			第1-1号内訳書		
計					機器費		
本工事費 ポンプ設備工 直接工事費 輸送費	式	1			計上なし		
計					輸送費		
直接工事費 直接材料費	式	1			計上なし		
小計					直接材料費		
直接工事費 補助材料費	式	1			直接材料費の %		
小計					補助材料費		
計					直接材料費		

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 ポンプ設備工 直接工事費 一般労務費 新設					第1-2号内訳書		
	式	1					
小計					一般労務費		
直接工事費 一般労務費 撤去	式	1			第1-3号内訳書		
小計					一般労務費		
直接工事費 機械設備据付労務費 新設	式	1			第1-4号内訳書		
小計					機械設備据付労務費		
直接工事費 機械設備据付労務費 撤去	式	1			第1-5号内訳書		
小計					機械設備据付労務費		
計					労務費		

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 ポンプ設備工 直接工事費 特許使用料					計上無し		
	式	1					
水道光熱電力量	式	1			計上無し		
機械経費	式	1			労務費の %		
総合試運転費 率計上	式	1			計上無し		
総合試運転費 積上げ	式	1			計上無し		
特別経費	式	1			スクラップ費		
計					直接経費		

設計內訣書

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事				事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要	
本工事費 ポンプ設備工 間接工事費 共通仮設費 率計上						
運搬費 積上げ	式	1			計上無し	
準備費 積上げ	式	1			計上無し	
事業損失防止施設費 積上げ	式	1			計上無し	
安全費 積上げ	式	1			計上無し	
役務費 積上げ	式	1			計上無し	
技術管理費 積上げ	式	1			計上無し	
營繕費 積上げ	式	1			計上無し	
小計					共通仮設費	

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事				事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要	
本工事費 ポンプ設備工 間接工事費 現場管理費						
小計	式	1				
					現場管理費	
据付間接費	式	1				
小計						
					据付間接費	
計	式	1				
					間接工事費	
据付工事原価						
					据付工事原価	

設計内訳書

工事名	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事					事業区分 工事区分	下水道ポンプ施設(機械設備)
工事区分・工種・種別	単位	数量	単価	金額	摘要		
本工事費 ポンプ設備工 設計技術費 設計技術費					計上なし		
計	式	1			設計技術費		
合計					工事原価		
本工事費 ポンプ設備工 一般管理費 一般管理費					工事原価-機器費工場持込整備費		
計	式	1			一般管理費		
工事価格							
工事価格 (改め)							

第 1-1 号 内訳書

機 器 費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
汚水用水中ポンプ	形式:150DSC	台	1			本体重量:506kg
	φ 150 22kw 4P 200V 50Hz 2.52 m ³ /min 全揚程:24m ケーブル10m					
	ケーシングFC250,インペラFC250,主軸SUS420J2,エポキシ樹脂塗装(水処理仕様)					
	・既存機器と同等品以上とし、上記仕様を満たす水中ポンプとする。					
計						

第 1-2 号 内訳書

一般労務費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
新設						
普通作業員		人				
計						

第 1-3 号 内訳書

一般労務費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
撤去						
普通作業員		人				
計						

第 1-4 号 内訳書

機械設備据付費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
新設						
機械設備据付工		人				
計						

第 1-5 号 内訳書

機械設備据付費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	単 價	金 額	摘 要
撤去						
設備機械工		人				
計						

第 1-6 号 内訳書

複合工費(機械設備)

項 目	形 状	単 位	数 量	单 価	金 額	摘 要
機械損料・雑材・処分費		式	1			
計						

施工条件明示書

一 特記仕様書 -

工事番号	七水第20-178号	工事名	令和2年度 小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事	事務所名	宮城県七ヶ浜町 水道事業所							
項目	条件	内 容		施工方法	備考							
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。										
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置		(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」 <table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/> ある</td> <td>令和 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle; text-align: center;">請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> ある</td> <td>請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> ない</td> <td>上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。</td> </tr> </table>				<input type="radio"/> ある	令和 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)	<input checked="" type="radio"/> ある	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。	<input checked="" type="radio"/> ない	上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。
<input type="radio"/> ある	令和 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)										
<input checked="" type="radio"/> ある	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。											
<input checked="" type="radio"/> ない	上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。											
3 工程関係												
(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
(2) 施工時期による制限	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
(3) 関係機関等との協議の未成立	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
4 公害対策関係												
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
5 安全対策関係												
(1) 交通安全施設等の指定	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
(2) 占用埋設物との近接工事による施工方法、作業時間の制限	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
6 排水工関係												
(1) 溝水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない										
7 建設副産物対策関係												
(1) 共通事項		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。										
		処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間							
		工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。										
(2) 建設発生土		処理・処分	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない								
(3) 建設発生土以外の建設副産物		コンクリート塊	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	km	時 分 ~ 時 分						
		アスファルト塊	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	km	時 分 ~ 時 分						
		建設発生木材	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	km	時 分 ~ 時 分						
		建設汚泥	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	km	時 分 ~ 時 分						
		その他(廃ガラ)	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	km	時 分 ~ 時 分						
(4) 再生材の利用		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない									
8 工事現場のイメージアップ		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	内容 イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。								
9 品質証明												
(1)品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。								
(2)施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。								
10 標準的な設計図書による発注方式		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。								
11 資材関係												
(1)生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。										
(2)購入土		購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。										
(3)宮城県グリーン製品の利用		必須 1.植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。 2.盛土材、埋め戻し材										
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない									
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	3.その他()								
		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	4.その他()								
(4)現場吹付法枠工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm ² 以上とする。										
12 その他												
(1)舗装の下請制限について		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。								
(2)「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンブ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。								
(3)三者会議の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。								
(4)貸与資料の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるもののが工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()								
(5)発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。								
(6)工事写真の電子化の対象の有無		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき電子化すること。ただし、予定期格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認めることとする。								
(7)工事実績情報システム(CORINS)登録		請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カレッジ」を作成し登録申請を行うこと。										
(8)工事書類の簡素化の試行について		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	1.本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2.「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業届の書類を提出について、電子メール活用を基本とする。 3.これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。								

東日本大震災に伴う特例制度

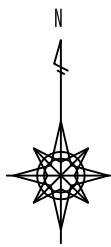
項目	条件	内容	実行方法	備考
13 積算基準及び設計単価の適用期日				
(1) 積算基準及び設計単価の適用について	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。		
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の設計単価とする。		
14 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち工賃費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点での設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 0.00%</p> <p>2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行ふ場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2) 労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、「労働者宿舎設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舎の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
15 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルトコンクリート・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等)</p> <p>2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」)</p> <p>3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由</p> <p>4 製造・生産工場を選定した理由</p> <p>5 見積もり書</p> <p>6 その他、必要と思われる事項</p>	
16 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「〇〇地区(施工箇所〇〇, 〇〇), △△地区(施工箇所〇〇), □□地区(施工箇所〇〇)(以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
17 その他				
(1) 機械損料の補正について	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事で使用するブルドーザ(リッパ装置付きブルドーザを除く)、バックホウ、ダンプトラック(建設専用ダンプトラックを除く)については運転1時間(日)当たりの損料に105/100を乗じている。		
(2) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の〇〇の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、〇〇の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(3) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算とかい離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。		
		補正係数 共通仮設費: 1.5 現場管理費: 1.2		

* 条件欄に「ある」と記入した場合は内容、施工方法等を記入すること。

特記事項

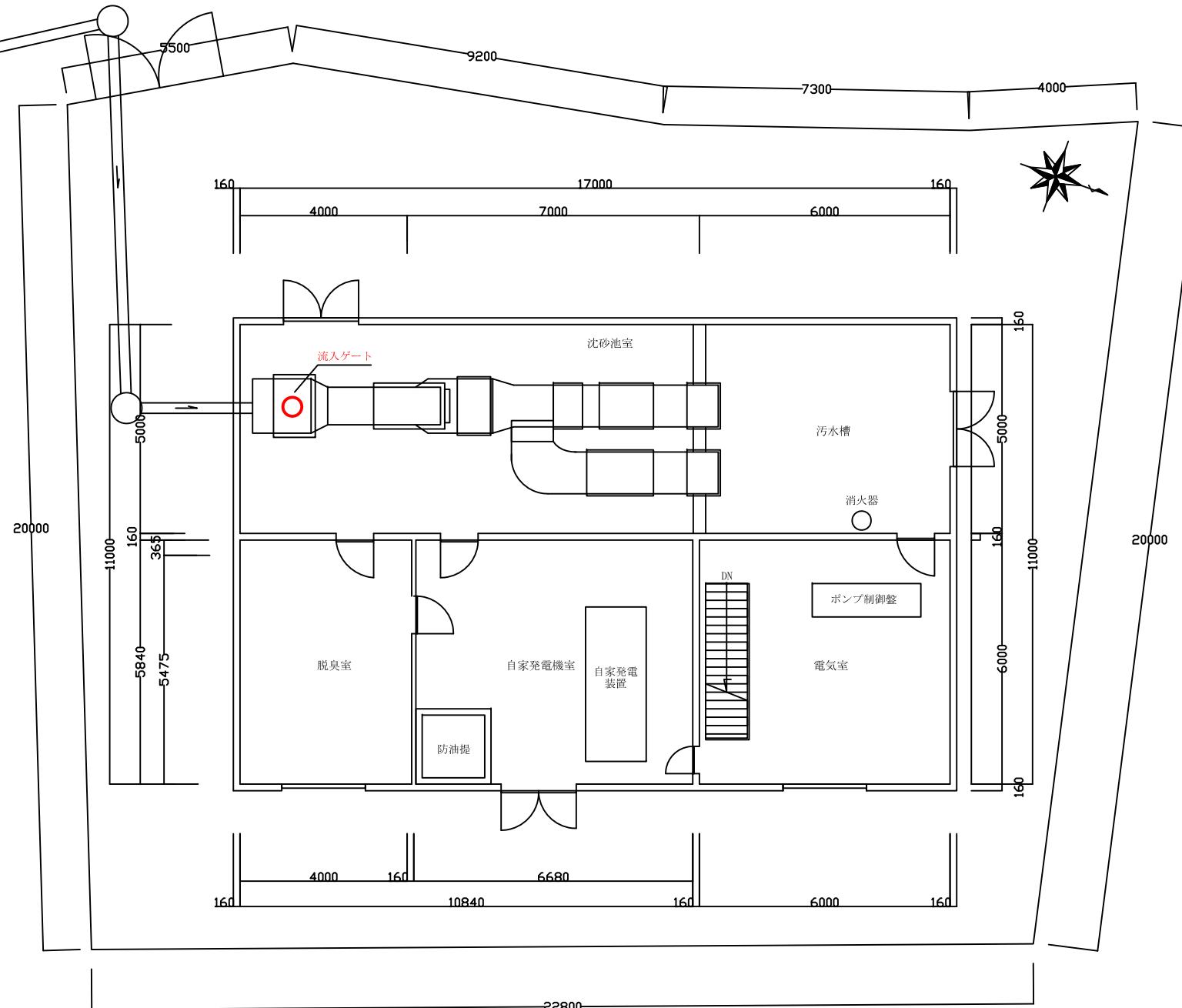
1 追加事項1			
(1) 追加	本工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示していない事項で工事の性質上当然必要なものは、工事監督員と協議の上施工すること。		
(2) 追加	関係官庁へ許認可申請、報告、届出等の必要がある場合には監督員との協議のうえ資料作成等速やかに行うこと。		
(3) 追加	設計図書の訂正又は変更等において、監督員の必要とする書類を作成すること。		
(4) 追加	条件を満たす場合は、現場代理人の兼務を認める。		
(5) 追加	その他必要な事項は、本町と請負者の協議の上決定するものとする。		
(6) 追加			
(7) 追加			
(8) 追加			
(9) 追加			

工事箇所位置図



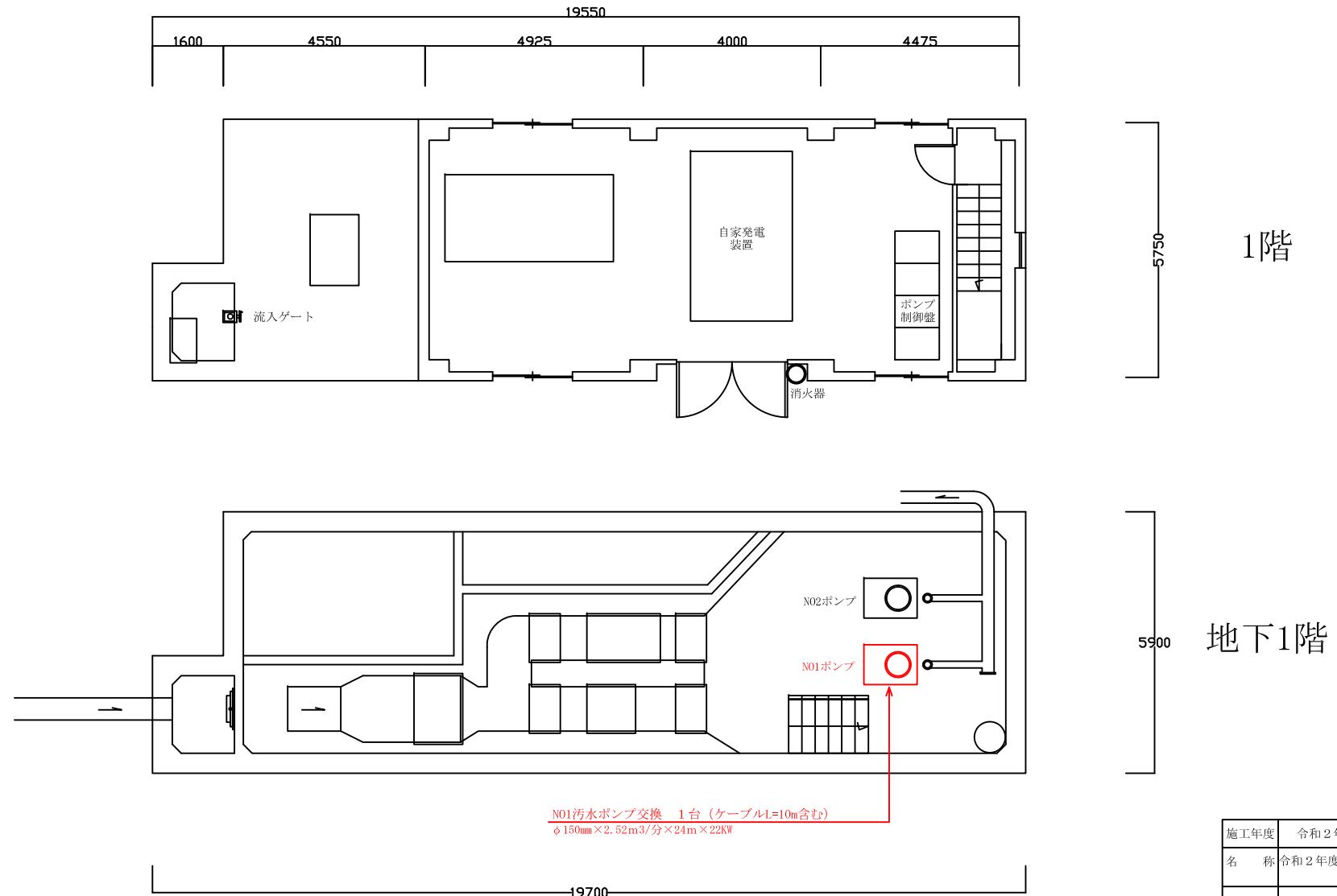
鹽瀝港

塩竈灣 (千賀ノ浦)



施工年度	令和2年度	工事番号	七水第20-178
名 称	令和2年度小田汚水ポンプ場他流入ゲート等改築工事		
図面名称	配置図及び平面図（小田汚水ポンプ場）		
図面作成	令和2年度	縮 尺	S=1/100
宮 城 県 七 ケ 浜 町			

要害汚水ポンプ場



施工年度	令和2年度	工事番号	七水第20-178号
名 称	令和2年度小田汚水ポンプ場他 流入ゲート等改築工事		
図面名称	平面図(要害汚水ポンプ場)		
図面作成	令和2年度	縮 尺	S=1/100
	宮 城 県 七 ケ 浜 町		

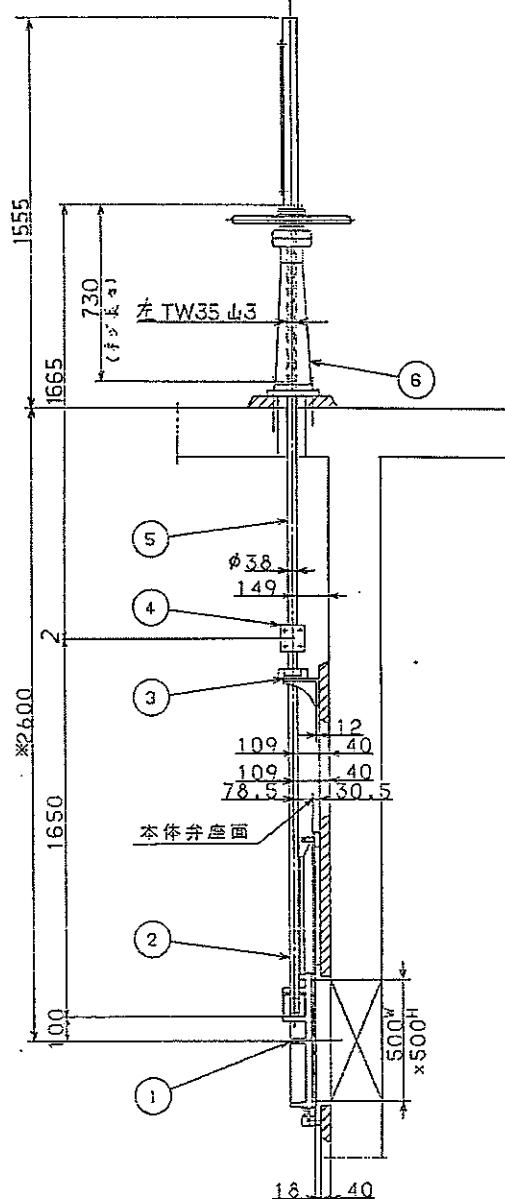
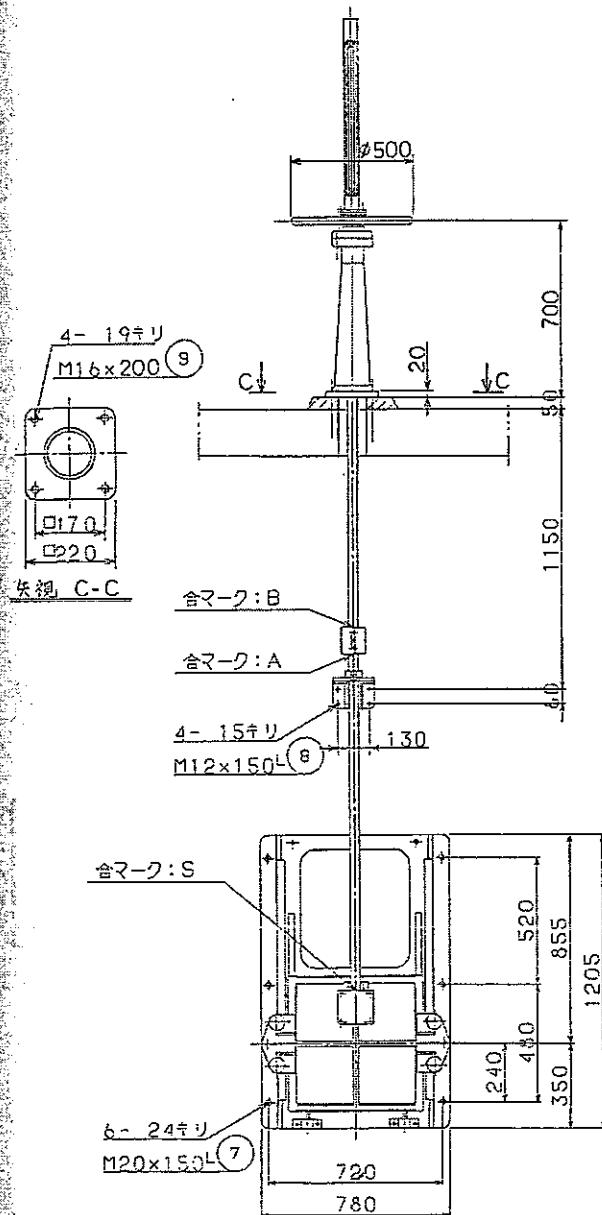
制水扉製作仕様書

取扱い主	土ヶ浜下小道建設課長				貢仕様書番号			
取扱い先								
名	500×500		手動式制水扉	形式	内ネジ	外ネジ	台数	/ 台
称	沈砂池流入ゲート			付属品	1. 本体取付用基礎ボルト・ナット (M20×150 ^φ [ナット---SUS403] 6組/1台 [ナット.ワッシャー---SUS304])			
方式	ON-OFF		流調		2. 開閉台取付用基礎ボルト・ナット (M16×200 ^φ [ナット---SUS403] 4組/1台 [ナット.ワッシャー---SUS304])			
類	ミラーゲート				3. 振れ止め金具 [FC20+BC6] 1組/1台			
作水深	呑口中心	正庄(前面) 逆庄(後面)	2.6 m		4. 振れ止め金具取付用基礎ボルト・ナット (M12×150 ^φ [ナット---SUS403] 4組/1台 [ナット.ワッシャー---SUS304])			
作水深	呑口中心	正庄(前面) 逆庄(後面)	2.6 m		5. 密着カタカツフリック [FC20] 1個/1台			
体温度	常温	°C						
試験	水張り							
式	HS-2T形							
ハンドル開閉方向	右	左	廻り開き					
ハンドル回転数	全開から全閉まで約62回転							
ハンドル操作力	約 6.8 kgf							
量表示	mm	cm	%					
取付高さ	呑口中心-床上 2600 mm			18し				
取付場所	屋内 (屋外)							
本体	(1) ジンクリットフラグマ(有底) 1個 (2) ターベルキシングドア専用錠 2個			備考				
	コンクリート接触部は無塗装							
開閉装置	(1) 銀色止め 1個 (2) フタの開閉用把手蓋 1個							
	緑色:マニホールド							
主要部材質								
本体: FC20	扉体: FC20							
ボルト座: SUS304	扉体ボルト座: BC6							
ボルト: SUS304								
	受注番号							
部長	課長	担当員	検査員	担当				

参考資料
(既設流入ゲート)

第三角法
THIRD ANGLE PROJECTION

製作番号 ORDER NO.	製作日 DATE	備考 REMARKS	日付担当 DATE FWD.
2			



特記事項

1. 基礎ボルトはコンクリート内鉄筋に現物合わせの上、溶接して下さい。
2. 部は据付時、モルタルを充填して下さい。
3. ※寸法は据付時±30mmを厳守して下さい。
4. 閉閉時スラブに作用する荷重
開時 900 kg (下向)
閉時 750 kg (上向)

番号 PART NO.	名 NAME OF PARTS	材質 MATERIAL	規格 JIS NO./SYMBOL	備考 REQ. NO.	備考 REMARKS
9	基盤ボルト	SUS403	4S	N-W-SUS304	
8	基盤ボルト	SUS403	4S	N-W-SUS304	
7	基盤ボルト	SUS403	6S	N-W-SUS304	
6	閉閉装置	-o-	1	HS-2T	
5	弁 塞	SUS304	1		
4	カッアリング	FC20	1S	B-N---M12 (SUS304)	
3	振レ止メ金具	FC20+BC6.	1S		
2	弁 塞	SUS304	1		
1	副水扉	-o-	1		

HS-2T形 手動閉開合付
W 500 x H 500 外ネジ式制水扉据付図

SCALE	DWC.	NO.	△
1/15			
APP.	CHG.	DATE	△
検査	担当	製図	監修
CHK.	END.	DRW.	DES.
Marks	訂正記事	REVISION	計数

参考資料
(既設流入ゲート)

B

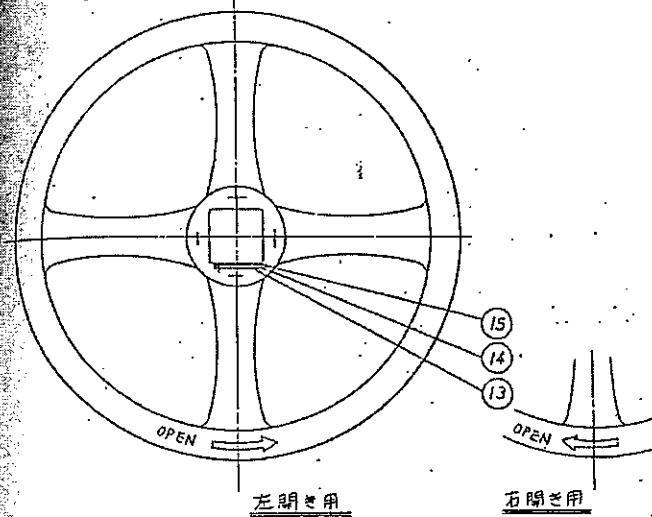
C 第三角法
THIRD ANGLE PROJECTION

D

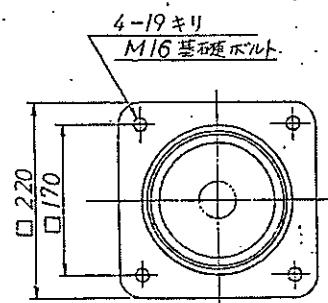
E

F

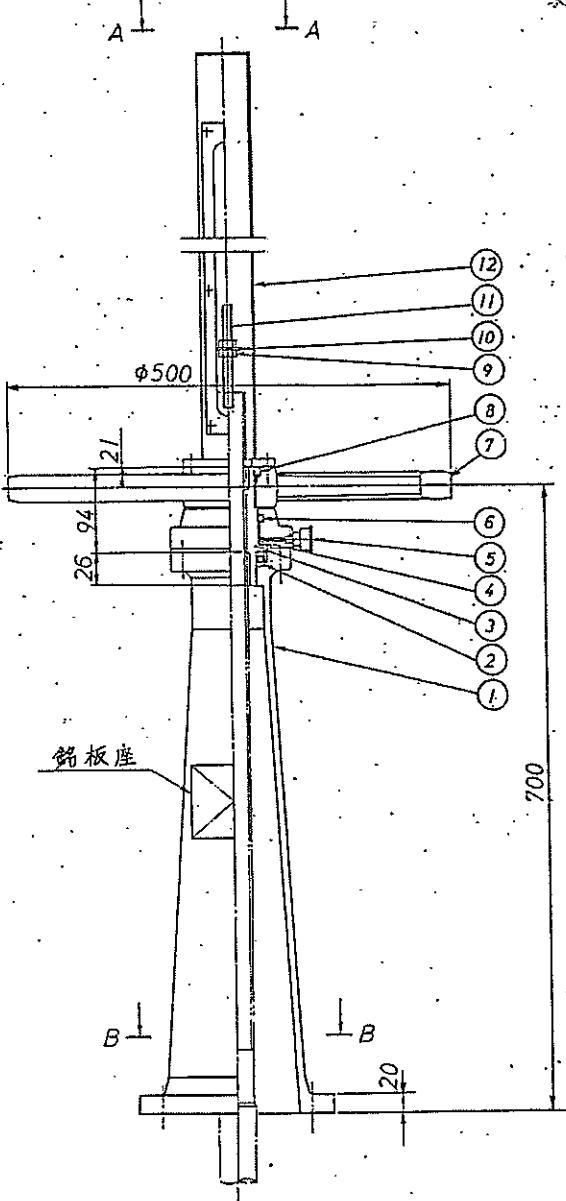
製作番号 ORDER NO.	製作枚数 Q'TY	備考 REMARKS	日付 DATE ENG
2	1台	500×500mm 制水装置	K



矢 視 A-A



矢 視 B-B



△X1	符号 MARKS	訂正記事 REVISION	日付 DATE	担当 ENG.	検査 CHK.	承認 APP.	検査 CHK.	担当 ENG.	日付 DATE

部品番号 PART No	名前 NAME OF PARTS	材料 MATERIAL JIS NO / SYMBOL	需求数 REQ. No	備考 REMARKS
15	カスケット	ゴム	1	
14	透明板	アクリライト	1	
13	目盛板	SUS 304	1	
12	ケース	STKR41 + SS41	1	
11	指針軸	SUS 304	1	
10	指針	SUS 304	1	
9	六角ナット	SUS 304	2	
8	止メネジ	SUS 304	1	
7	ハンドル	FC 20	1	
6	"O"リング	合成ゴム	1	# P. 65
5	グリスカップ	YBSC	1	
4	カバー	FC 20	1	
3	メネジ	C 6783 BE	1	
2	ベアリング	市販	1	# S1111
1	スタンド	FC 20	1	

トップハンドル式 (ベアリング入)

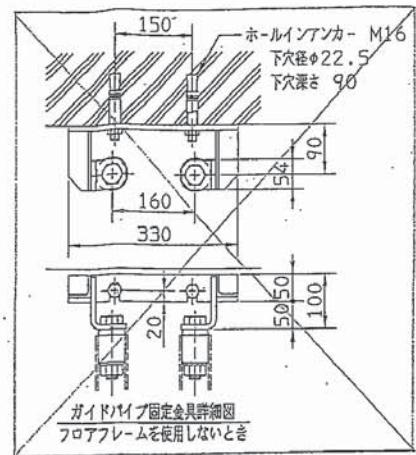
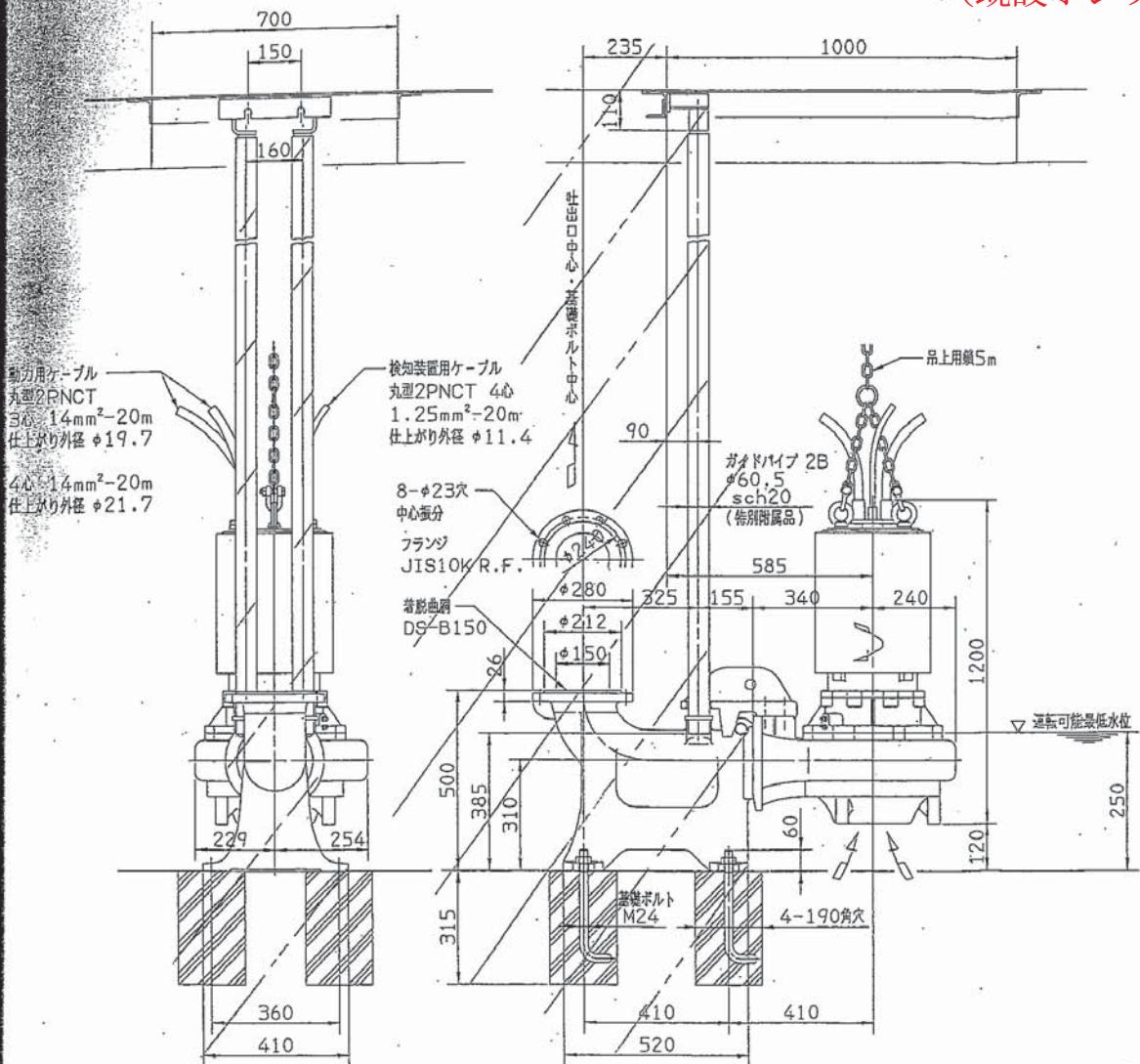
HS-2T 開閉台組立図

SCALE	～	Dwg. No	VHS		
承認 APP.		検査 CHK.		担当 ENG.	日付 DATE
検査 CHK.		担当 ENG.		検査 CHK.	

60.3.27

60.5.14

参考資料 (既設ポンプ)



検知装置（電動機内蔵）詳細
下記の仕様に合わせて、部荷盤に非常停止及び警報用リレーを取り付けてください。

温 度 感 知 器	浸 水 感 知 器	
形 式	クリクソン9700K-06-215 (動作温度135°C)	OLV-5-2(フロー式)
接 点 定 格	AC230V×13A(max) AC220V×6mA 又は DC12V×10mA(min)	AC200V×0.1A (max)※3
接 点	b接点(常時ON、検知するとOFF)	a接点(常時ON、使用するとOFF) ※2 c接点(常時OFF、検知するとON)
ケーブル端子記号	S.(赤)、S.(白)	S.(黒)、S.(緑)

第1章

卷之二十一

※3. 浸水検知器用の保護リレーは、誤動作防止のためタイマーにより 60 秒以上動作時間が接続! を場合に警報を出すようにしてください。

项目组织

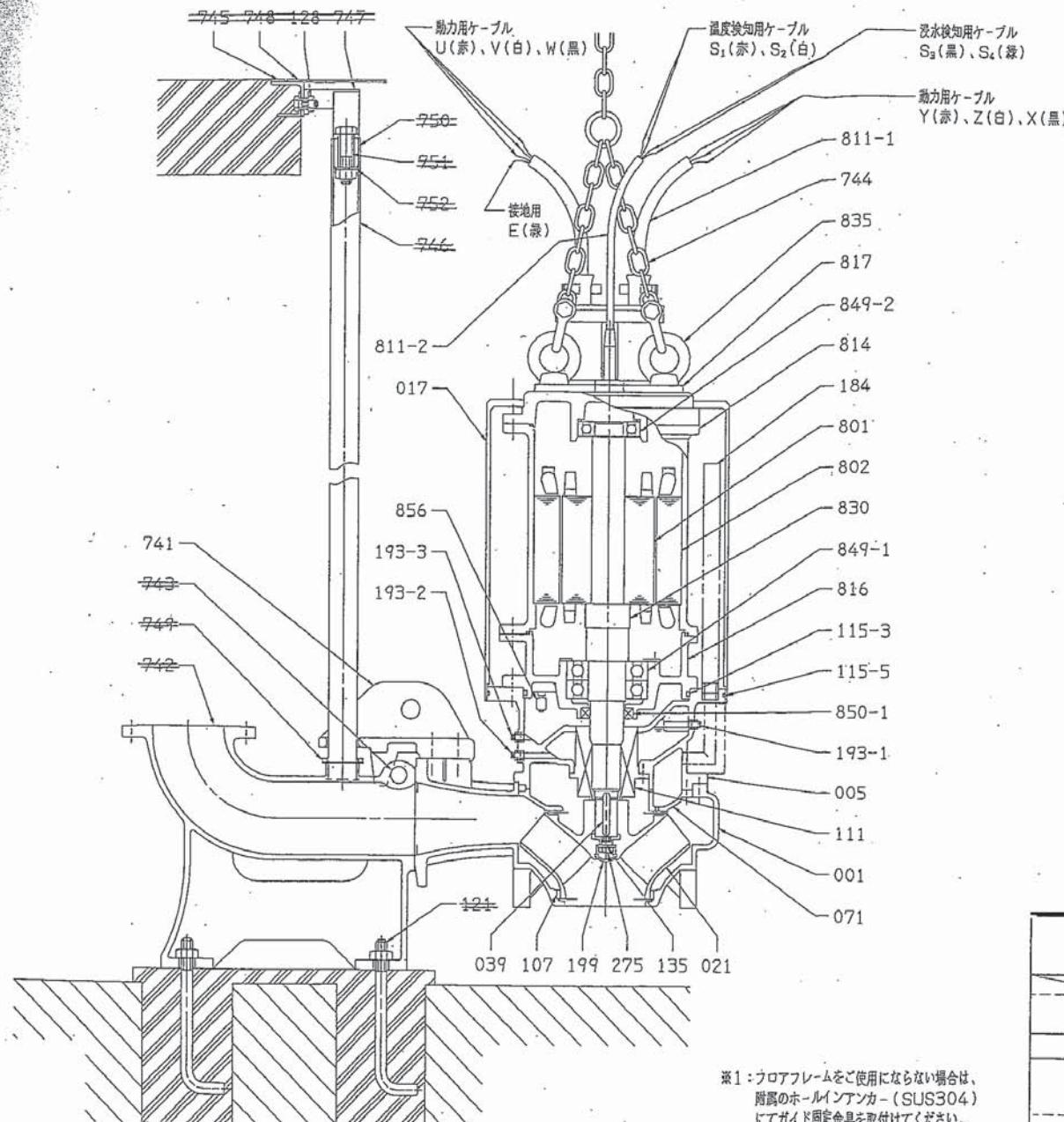
1. 接地工事は、電気設備技術基準により施工してください。
 2. 過電圧遮断器、保護リレー（3Eリレー等）を取付けてください。
 3. 深度管のうち、ポンプ管には電動送風機も含みます。

4. 部署説明書関係は、附属しません。

機名/ 150DSC		御注文主 七ヶ浜町殿	
吐出水量 m ³ /min	全揚程 m	回転速度 m/min(周波数) 2.52-1 24-1 1500-1	出力 kW 22-1
御使用先 要害ポンプ場 殿			
承認図	係員	製図	図名 水中渦巻給流ポンプ/ 外 形 図
			投影法 ◆□
		尺 度 1:非	
		图番 REV.	
		DOC. NO.	REV. 00

参考資料
(既設ポンプ)

番号	図面表記	内 容・理 由	年・月・日	係 承認



※1: プロアフレームをご使用にならない場合は、
階層のホールインアンカー（SUS304）
にてガイド固定金具を取付けてください。

※2: 特別附属品につき、ご要求により附属致します。

部品番号	部品名	材 料	個 数	備 考
856	浸水検知器		1組	
850-1	オイルシール		1	0628512A
849-2	反転荷重玉軸受		1	6310UU
849-1	負荷軽玉軸受		1組	6314UUD2
835	吊りボルト	SUS304	2	
830	主轴	SUS420J1	1	
817	反転荷重ブレケット	FC150	1	
816	食荷側ブレケット	FC150	1	
814	モーターフレーム	FC150	1	
811-2	水中ケーブル（検知装置用）	2PNCT	1	
811-1	水中ケーブル（動力用）	2PNCT	2	
802	ステータ		1	
801	ロータ		1	
752	座金	SUS304	2	
751	支持ギヤルト	SUS304	2	
750	ゴムブッシュ	天然ゴム	2	
749	ナット保持板	SUC304	1	
748	プロテクター	SS400	1	※2
747	ガイドパイプ固定金具	SUS304	1	
746	ガイドパイプ	SUS304	2	※2
745	フロアフレーム	SS400	1	※2
744	吊上用索	SUS304	1組	
743	支持棒	SUS420J1	1	
742	看板曲脚	FC250	1	
741	スライティングガイド	FCD400-15	1	
275	インペラボルト	SUS420J1	1	
199	軸端キャップ	NBR	1	
193-3	プラグ（点検用）	SUS316	1	
193-2	プラグ（油浴用）	SUS316	1	
193-1	プラグ（注油用）	SUS316	2	
184	冷却パイプ	SGP(白)	2	
135	座金	SUS304	1	
128	ナット	SUS304	2	※1
121	基盤ボルト	SUS304	4	
115-5	"O"リング	NBR	1	6X435
115-3	"O"リング	NBR	1	G290
111	メカニカルシール		1組	38X48
107	ライナーリング	SUS316	1	
071	サイドプレート	FC250	1	
039	ナット	SUS420J1	1	
021	インペラ	FC250	1	
017	水冷ジャケット	SS400	1	
005	中磁ケーシング	FC250	1	
001	ポンプケーシング	FC250	1	

機名 /	150DSC	備注文主	七ヶ浜町役
承 認	合	海使用先	要害ポンプ場 殿
係 員 簿		図名	冰中渦巻斜流ポンプ
		断面図	投射法
			●
			尺 度
			1:非
		図番	REV.
			REV.
		DOC. NO.	00